



パワー浜松ロータリークラブ週報 2014年11月25日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Way を確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15 年度会長: 小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



第558回例会 11月25日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 西尾文克、鈴木一広 ●点鐘: 小林昭次 ●ロータリーソング: それでこそロータリー
- ゲスト: 米山記念奨学生 暢婉君さん
- 議事: 長期ビジョン策定委員会 「事業プレゼンテーション」

<出席報告> 本日出席率68名 82.93% 前々回出席率68, 29%

■会長挨拶

11月は公私ともに忙しい月です。衆議院の解散があったり高倉健さんが亡くなったり、白鳳が大鵬の32回の記録に並んだり。高倉健とか大鵬は僕らの頃のヒーローです。それなりの感慨はあります。



個人的にも11月5日に会社の運動会がありました。運動会の時に綱引きの綱を真ん中で踏んでたら、突然ロープが跳ね上がり跳ね飛ばされて手を怪我してしまいました。骨折などの被害にはならなかったけれど、楽しみにしていたゴルフも2回程参加できませんでした。

地区大会の前では九州の知覧で特攻隊の記念館に行ったり、武家屋敷を観光しました。それから宗像大社では、トータルで8万件くらいの国宝があるところですがそちらを一部見学しました。それから沖縄にも行きましたし、先日は京都ですね。まさに最盛期の紅葉を堪能させてもらいました。

今月は我が社の受注が前年度よりいっくらアップしていれば万々歳で終わる一カ月だったかなというふうに思います。理事会が終わったあと、弊社の営業幹部を集めておりますので、少し詰めて何とかここにこぎつけたいと思います。

今日も一日よろしくお祈りします。

■幹事報告

・会員用 web に記載のあるメールアドレスや携帯番号、役職、住所など変更があった場合は、幹事宛にメールでご確認下さい。
・RI よりロータリーデーインジャパンのご案内が届いております。ご興味のある方は幹事までご連絡をお願い致します。

・今月末で事務局の市川さんが退職されます。本日が最後の例会となりますので一言ご挨拶頂きます。



■スマイル

福地三則:

浜北駅そばに元静岡銀行頭取の故平野繁太郎氏から旧浜北市に寄附された「平野又十郎」の古屋敷があります。浜松市は近くこのお屋敷を更地にして駐車場にするとということで、後世の子どもたちに残す方法はないかと声を上げました。より多くの方々にこの事を知っていただき、ご協力をお願いするものです。(堀内、西尾、福地)

奥山恵理子:

11月15日、なゆた浜北にて浜北RC主催、パワー浜松RCの協力で「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

当日は、募集人員を上回る250名の方々に参加して頂きました。そのうち約50%は10歳～20歳代の若者たちでした。全国590万人のサポーターが生まれていますが、最も少ない世代の参加が多く、心強く感じました。

まだまだ「齢をとること」が「認知症」の原因のひとつといわれる時代は続きます。浜松の地区においては、パワー浜松RCの発信ではじまった社会活動を今後ともよろしくお祈り致します。

■委員会報告

職業奉仕委員会 武田委員長

本日、過日案内した航空自衛隊基地の見学会を行い。

参加予定者は時間通り集合してください。

■ハッピーバースデー

金山土洲、長谷川博久、長谷川隆是(11/20)



■新入会員紹介

桑桂一さん 東海東京証券株式会社 浜松支店長



■議事 長期ビジョン策定委員会

5名の会員からパワーで取り組むべき事業の具体例や長期事業に対する考え方を発表いただきました。今回のプレゼンを聞いていただき、更に長期事業として提案される事業がありましたら長期ビジョン策定委員会までご提案ください。

福地さん ロボットコンテスト

本年度、クラブに協力いただいてロボットコンテストを実施しました。浜松では120人の子どもたちが学んでいます。ロボット技術者は将来的に不足するものと思われ世界的にも重要です。地域としても大切な産業になります。



堀内さん 中田島

中田島砂丘の保全是地域の環境にとって重要な事業であり、メンバーが参加して取り組める事業として継続する価値があります。これまで続けてきた取り組みを発展させていきたいと思えます。具体的には、清掃範囲を松林に拡大したり、子どもたちへの教育の場や活動の場として活用することが考えられます。



坂井さん 途上国支援

3月にミャンマー訪問し子どもたちの笑顔に触れ感動しました。東日本大震災被災地で餃子を振る舞ったときも現地の人たちに喜んでもらえて今でも鮮明に覚えています。事業には国内のもの国外のものがありますが、世界の中で関わって貢献していくことも大切だと思います。また人材に投資することも重要だと思います。

安間孝明さん 命について

若い女性の墮胎の問題の背景に教育の問題があると思えます。パワーとしても、学校に入って会員の経験を伝えるなど教育に踏み込んでいく働きかけができればよいと思えます。



小澤さん 継続の重要性

大きな事業に取り組むことも大切ですが、小さなことでも自らの時間を割いて取り組んでいくことも大切だと思います。中田島も毎月やればパワーだけの事業になります。月1回でも例会後に有志の会員が駅前までの清掃に取り組む、といったことも考えられます。人間は万物の霊長として、引退盲導犬や震災で家族とはぐれた犬など、動物に対するいたわりの心をもった事業も考えられると思えます。